メンター制度について



女性研究者支援センターとダイバーシティ研究環境研究所では、「女性研究者支援メンター制度」を実施しています。

女性研究者支援メンター制度とは

豊富な知識と職業経験を有した先輩(メンター)が、後輩(メンティ)に対して行う個別支援活動です。 **職場内の悩み**や**問題、キャリア形成上の課題達成や問題解決をサポート**して、女性研究者・技術者としての成長 を支援します。

利用できるのはどんな人?

大阪府立大学の**女性研究者は誰でも**利用できます。

※女性研究者は、教員・博士研究(ポスドク)・大学院生及び獣医学類5・6年生を含みます。

メンターはこんな人たち

大阪府立大学の専任教員を中心に**、学内各研究科から、幅広い分野で、豊富な経験、多彩な働き方や人生経験を持った**メンターが30名在籍し、**研究科の垣根を越えて**相談できます。

【メンター登録者数】 工学 10名 / 生命環境科学 5名 / 理学系 4名 / 経済学 1名 / 人間社会システム科学 6名 / 看護学 1名 / 総合リハビリテーション学 1名 / 高等教育推進機構1名 / 府大高専1名

相談内容例

- キャリアや研究の進め方、外部資金獲得や研究室運営などについて
- 結婚・出産・育児・介護などのライフイベントと仕事、研究の両立について
- 社会人としての仕事の進め方やネットワークの作り方について

他

メンタリング方法

どのような形で相談を受けるか(面談、メール、電話等)なども含めて、メンターとメンティが直接相談します。

自分にぴったりのメンターと出会うために

メンターカフェ

メンターとメンティの交流の場であるメンターカフェも 開催しています。リラックスした雰囲気での交流を希望 する方や、まずはお話を聞いてみたい方などにおすすめ です。カフェで出会ったメンターに個別メンタリングを 申し込むこともできます。





メンターカフェ(中百舌鳥キャンパス)の様子

いつもの窓口

メンター制度の利用を ご希望される方は、女 性研究者支援センター またはダイバーシティ 研究環境研究所へご相 談、お申込ください。



相談依頼を**受けたコーディネーター**が、相談内 容に応じて、**メンターとメンティのマッチング** を行います。